

2019年3月29日

第19回統一地方選挙（前半）告示にあたって（談話）

連 合 埼 玉
会 長 近 藤 嘉

本日、第19回統一地方選挙がスタートした。今回の統一地方選挙は、前半戦（4月7日投票）が県議会議員選挙・さいたま市議会議員選挙であり、後半戦（4月21日投票）には、市・町議会議員選挙ならびに首長選挙が行われる。

埼玉県では、少子高齢社会が急速に進展する中、産業構造、税収、医療・介護、子育て、雇用環境など、あらゆる面で拡大しつつある地域間格差に対応する政策・制度の実現が求められている。加えて、近年では台風や集中豪雨、竜巻など自然災害への対応など、住民の一番身近なところで公共サービスを提供する各自治体の重要性がますます高まっている。

第19回統一地方選挙は、地域と住民の暮らしを守り、「働く者・生活者」の立場に立った政治勢力拡大をはかり、「働くことを軸とする安心社会」をはじめとする連合埼玉の政策制度実現に向けた重要な戦いである。

しかしながら、一昨年の総選挙に伴う政党の分裂や再編に伴い、連合内における各構成組織の支持政党が変化していることから、活動を進める各労働組合役員をはじめ、組合員や家族を含む有権者に対しても、これまでとは違い大変分かりにくい状況である。

その様な状況をふまえ、候補者の推薦にあたっては再び与党を利することのない様、連合埼玉を含めた当該政党と慎重に協議を重ねてきた結果、首長候補2人、県議候補20人、さいたま市議候補15人、一般市町議候補25人の推薦を決定した。

改めて、連合埼玉の統一推薦候補者として、各構成組織における支持政党の壁を乗り越えた相互支援と組合員に対する周知徹底をお願いしたい。

いまこそ労働組合は結束力を強め、職場で、地域で頑張り抜くことが必要である。構成組織ならびに地域協議会、構成する全組合員が全力で立ち向かい、連合推薦候補者への支持拡大や、棄権防止・期日前投票を呼びかけ、連合埼玉推薦候補者全員の勝利をめざそう。

以 上